

### 文教厚生常任委員会 県外視察報告

文教厚生常任委員会は1月19日から22日の3泊4日の日程で県外行政視察を行いました。視察先はオスプレイが配備されている沖縄の宜野湾(ぎのわん)市・沖縄戦の病院壕が残り県の薬剤師会館もある南風原(はえばる)町・図書館の指定管理で注目を集めている佐賀県武雄(たけお)市を訪れました。



朝から普天間基地のある宜野湾市の嘉数(かかず)高台公園へ。本来なら宜野湾市の職員に説明を受ける予定でしたが、会計検査が入ったこの事で、急きよ防衛省沖縄防衛局の職員から、オスプレイがとまっている普天間基地を眺めながら説明を受けました。  
午後からは南風原町の病院壕の視察にいきました。有名なひめゆり部隊の活動場所として40近くの横穴壕がありましたが、ほとんどが立ち入り禁止で崩落が進んでいます。南風原町は沖縄戦の記憶を伝えるために、1990年に沖縄陸軍病院南風原壕群を文化財に指定し、2007年より一般公開しています。第二次世界大戦の戦争遺跡を文化財に指定したのは、日本全国で初めてです。

#### 宜野湾市・南風原町

市立の図書館を視察。オープンから半年で来館者数50万人を突破し、

#### 佐賀県武雄市

沖縄県はシエネリック薬品の使用率が35%を超えて全国一高くなっています。その秘訣を探るべく取り組みの鍵を握る県薬剤師会を視察に行きました。土地柄ももちろんあるようですが、薬剤師会が医者とのシエネリックへの理解度を高めるために努力を重ねてきたことが伺い知れました。

#### 沖縄県薬剤師会



TSUTAYAで知られるカルチュア・コンビニエンス・クラブ(CCC)を指定管理者とし、図書カードにTポイントカードを導入したり、スターバックスカフェを併設したりと、これまでの公立図書館のイメージを覆す図書館として注目を集めています。  
最初に市役所議場で新潟県議会と愛知県刈谷市議会と一緒に説明を受けましたが、市長自ら「プレゼン資料を職員に操作させながら、設立に至った経過を説明してくれました。  
その後職員の案内で訪れた図書館は確かに広くて快適で素晴らしい施設でした。ただし、住民の間でもブックカフェなどの批判もあります。本来の図書館奉仕をする施設と別にこのような施設があればまた評価も変わると思われれます。



### 総務産業建設常任委員会 県外視察報告

視察日程：平成25年11月26日～29日

視察先：高知県室戸市(室戸ジオパーク)、高知県土佐清水市(株式会社土佐清水元気プロジェクト)、愛媛県宇和島市(ベルグアース株式会社・道の駅みま)、徳島県北島町(徳島県立防災センター)、徳島県上勝町(スキルバンク)

#### ○室戸ジオパーク(平成23年世界ジオパークに認定)

ジオパークをまちおこし・地域活性化につなげており、市においてハード面を整備するとともに、観光協会でガイド養成講座を行い、地域の一体感の醸成、産業の活性化に努めています。

#### ○株式会社土佐清水元気プロジェクト事業について

(株)土佐清水元気プロジェクトは、地域ブランド商品の開発で雇用創出を目指す取り組みをしており、農家を下支えすることを目的として平成20年に設立、商品にならない規格外の農産物を加工し販売することからはじめて、現在は水産物の加工品も扱っています。人気があるのは清水サバ(ゴマサバ)の漁師漬けで、生産が追いつかないほどです。会社の経営が軌道に乗るには最低10年はかかるだろうが、生産者とのつながりを確立し、第一次産業の活性化を図っていききたいとのことで、地道な取り組みも大切であると感じました。



#### ○ベルグアース株式会社(閉鎖型苗生産の取組と雇用対策について)



ベルグアース(株)は、実がなる野菜の接ぎ木を生産・販売しており、「農家の役に立つ」「農業を儲かる産業にする」というコンセプトのもと、年間3,000万本をフルオーダーメイドで生産している会社です。ここ数年は毎年10人程度を新規に採用しているとのことでした。当町にも当該事業を誘致できればと考え、何点かの質問と要望を行ってきました。

#### ○道の駅みま

施設内では、地元の野菜や米、特産品等を多く扱っていました。また、レストランの料理は地元の産物を使ったもので、多くの人でにぎわっていました。食は人を引き付けるものだと思認識しました。



#### ○徳島県立防災センター

館内の見学及び地震体験、消火体験をさせていただきました。

#### ○上勝町の『スキルバンク』の取り組み(上勝町は葉っぱビジネスで有名)

スキルバンクは、自らの持つ技能(スキル)で町に貢献する代わりに無料で宿泊できるという取り組みで、上勝町で起業家育成などに取り組んでいる地域再生コンサルタントの大西正泰氏からお話を伺いました。目的は上勝町の人口を増やすことで、スキルバンクのほかにもシェアカフェ(起業支援)等の取り組みもされているとのことでした。また、アイデアは漠然と考えても浮かぶものではなく、足りないものを埋めるために何が必要かを考えて出てくるものであり、一つ一つを積み重ねて、一つ一つを解決していくことが大事であると話されていました。大西氏の考え方は非常に参考になるもので、じっくりと話を聞くだけでもまちおこしのヒントが見つかるような気がしました。

委員会では、今回の視察研修で学んだことを今後の議会活動に活かしてまいります。